

災害と流行病の歴史と民俗 in 鎌ヶ谷

教訓を忘れないために

関東大震災一周年記念碑
(大正13年〈1924〉鎌ヶ谷市役所敷地内所在)

今も佐津間地区で行われている
辻切り (アンバサマ)

「明尋常小学校沿革誌」(鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校所蔵)に記載されたスペイン風邪の流行(大正9年〈1920〉)

会期

令和5年

7/15(土) ▶ 10/1(日)

開館時間 午前9時～午後5時 ※入館は午後4時45分までをお願いします。

休館日 毎週月曜日 7/18(火)、8/11(金)、8/22(火)～24(木)、
9/19(火)、9/23(土)

郷土資料館 2階展示室

ギャラリー・トーク〔担当学芸員による展示解説〕

7/30(日)、8/16(水)、26(土)、9/8(金)、14(木)、24(日)

午後1時30分～2時30分 各回定員：5名(事前申込制・先着順)

くわしくは7/15号「広報かまがや」をご覧ください。

主催：鎌ヶ谷市郷土資料館

お問合せ ☎047(445)1030

千葉県鎌ヶ谷市中央1-8-31

E-mail :

kyodo@city.kamagaya.chiba.jp

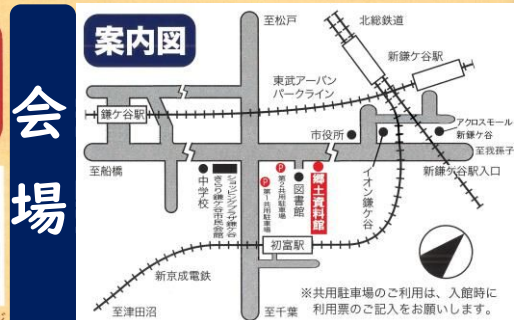
ホームページ(郷土資料館のページ) :

https://www.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudo_2/index.html

入館
無料



郷土資料館のページ



会場

- 新京成線「初富駅」より徒歩4分
- 東武アーバンパークライン・新京成線・北総線
成田スカイアクセス線「新鎌ヶ谷駅」より徒歩13分
- 東武アーバンパークライン「鎌ヶ谷駅」より徒歩15分

近年大きな自然災害や新型コロナウイルス感染症の流行などを経験した私たちにとって、過去の教訓に学ぶことは大変重要であるとの認識のもと、近世から近・現代にかけて市域が関わった災害や流行病に関する歴史資料と伝承された民俗資料を展示し、近い将来でこれらの事態が生じた際の参考としていただくことを目的としたものです。

なお、関東大震災100周年も兼ねて開催します。

I 流行病

(1) 流行病の記録

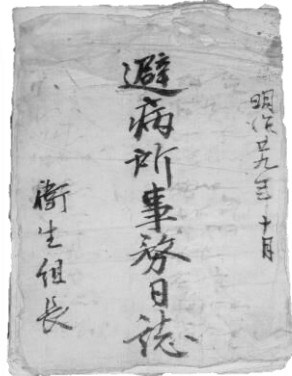
(2) 病の克服

① 種痘

② 避病所から病院へ

③ 薬の服用

④ 神仏への祈願



ひびょうしょ
避病所事務日誌

(明治29年<1896>)コレラ、結核などの伝染病患者を収容する隔離病舎業務を村の有力者自らが行っていたことが記されています。



ほうそうしん
疱瘡神(享和3年<1803>)病の神を手厚く祀ることで疫病の早期退散を願いました。(佐津間大宮神社境内所在)

つじき
辻切り 大杉神社(茨城県)に参拝する講、通称アンバサマで、村に疫病等が入って来ないように村境に幣束を付けた竹を立てます。(佐津間地区)



第27回
ミニ展示

災害と

流行病の

～教訓を
忘れないために～

II 災害

(1) 関東大震災

(2) 風水害

(3) 火災



おおあらし つきふきたお そろろいえかず
大嵐に付吹倒れ候家数ならびに木品書上帳(安政3年<1856>)安政江戸台風の佐津間村での被害状況を役所に提出したものです。



関東大震災の被災状況などを伝える新聞(大正12年<1923>(個人蔵))9月7日に発行された「中央新聞」(廃刊)で、裏面には、震災に伴い流布していた噂が書き留められています。

歴史と民俗 in 鎌ヶ谷



市内台風被害状況(昭和46年<1971>)写真記録された各種の災害状況を写真パネルで紹介します。